

前回推進委員会（10月2日開催）以降の進捗状況報告

1 専門分科会

（1）プレジャーボート係留施設専門分科会

○会議2回開催（10月30日、12月6日開催）。

- ・現地調査、静穏度の確認、波除堤設置位置、係留隻数の考え方、陸上施設の方向性、動線などについて審議中
※航空自衛隊芦屋基地の風速データをもとに風による波の影響度の調査を行い、静穏度が確保できることを確認した。
- ・今後、遠賀川流域の船舶所有者アンケート結果やイニシャル及びランニングコストを算出したうえで、隻数と配置や陸上施設、動線のまとめ、料金の考え方、ビジターバースの規模や設置場所などの検討を行い、意見をとりまとめる予定
※保管隻数は200隻を最大キャパとしているものの、ニーズ調査や将来展望なども考慮し、隻数や配置、収支計算が異なることが予測される。

（2）海釣機能専門分科会

○会議1回開催（11月20日開催）

- ・釣果とターゲット層、施設配置、整備内容、新設する波除堤完成までの運用、利用料金・利用時間・管理運営方法、漁協及びボート所有者との動線などについて審議中
- ・一定の釣果があるものの、それほど大きな魚が釣れるものではない。平成30年度の検討報告書でとりまとめているように初心者やファミリー層を対象とし、他の施設と連携し釣り文化促進の一躍を担う位置づけ。施設開放までの間は現状維持（イベントでの対応等）とする。遠賀川沿い導流堤は波除堤開放後の整備とする。
※波除堤には一定の釣果があることを確認した。施設完成までは他の海釣施設の整備は行わないという方向性
波除堤の構造や付帯設備、ボート所有者との動線など今後検討すべき事項をとりまとめる予定

2 関係団体

(1) 遠賀郡漁業協同組合芦屋支所 説明会

○11月11日(月)実施

- ・参加者 13名
- ・ゾーニング変更提案内容と今後のすすめ方を説明し、意見を伺った。

(2) 遠賀郡漁業協同組合 ヒアリング

○11月11日(月)実施

- ・参加者 3名
- ・主にボートパーク施設の整備に対する影響や懸念事項、連携の可能性について意見交換を実施

(3) 芦屋町内マリン事業者(2社) ヒアリング

○11月15日(金)実施

- ・参加者 2名(芦屋マリーナ)
- ・ボートパーク施設の整備に対する影響や懸念事項、事業連携の可能性について意見交換を実施

○11月19日(火)実施

- ・参加者 1名(ヨットハーバー芦屋)
- ・ボートパーク施設の整備に対する影響や懸念事項、事業連携の可能性について意見交換を実施

(4) 脇田フィッシャリーナ・北九州市調査

○11月13日(水)実施

- ・ボートパーク施設の整備及び管理運営方法に関する調査

(5) うみんぐ大島・宗像市調査

○11月14日(木)実施

- ・海釣施設の検討にあたり、うみんぐ大島の海釣堤防・釣堀の整備及び管理運営方法に関する調査

漁協・町内マリン事業者ヒアリング、他事例の調査の整理

遠賀漁協説明会・ヒアリング	町内マリン事業者ヒアリング	脇田フィッシャリーナ調査	うみんぐ大島
<ul style="list-style-type: none"> ○漁協とのエリア分け(フェンス設置) ○水上保管で十分 ○斜路を使用して良い(有料) ○給油施設の使用は不可 ○航行ルール、保険加入など安全面については今後も協議が必要 ○管理のみを受託希望 ○倉庫への車両搬入路の確保 ○泊地内の浚渫(水深が1m程浅くなっている) 	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上保管は競合し、事業が成り立たない。水上保管のみであれば影響はない ○メンテナンスなどの連携は重要で実施も検討したい。 ○給油施設は整備しても利用がない可能性が高い ○24時間対応は不可能。夜間の航行は危険であり、管理時間は決めた方が良い ○陸上保管は経験者・技能者がいないと運営できない。その者の人件費や船台などのランニングコストがかかる。水上保管の方が管理は楽。 ○芦屋港は立地が良いため、不法係留船以外にも周辺施設からの移動が見込める 	<ul style="list-style-type: none"> ○漁協が管理のみを受託 ○陸上施設は管理棟のみ ○係留施設は水上のみで、メンテナンスや船揚げ施設は無い。 ○水道設備は、係留者が費用負担し設置、給油施設・電気設備なし。 ○管理棟営業時間 8時30分～17時 ○運用時間(船の入出港) 日の出から日の入りまで ○料金 ・市内居住者 月額 1,450円/m ・市外居住者 月額 1,500円/m ※料金はオーナーバースの整備費用と維持管理費を賄える額で設定 ○隻数は108隻で常に埋まっている 	<ul style="list-style-type: none"> ○海釣堤防で一定の釣果あり、釣堀でも釣れないことはあり、苦情も発生 ○海釣堤防は直立消波ブロック構造で一旦波を受けるものの、流れがある構造 ○釣堀(60m×30m×7～10m)は深さ10m以上ないと魚が釣れない ○海釣堤防には転落防止柵、救命具、タラップを設置。ベンチ・水道なし。トイレ等は入口付近にあり ○営業時間 8時～17時(冬季16時) ○料金 堤防 620円(小学生310円) 釣堀 5,500円(小学生3,500円) ○利用者は減少傾向にあり、経営は、市の負担金で賄われてる部分大きい。